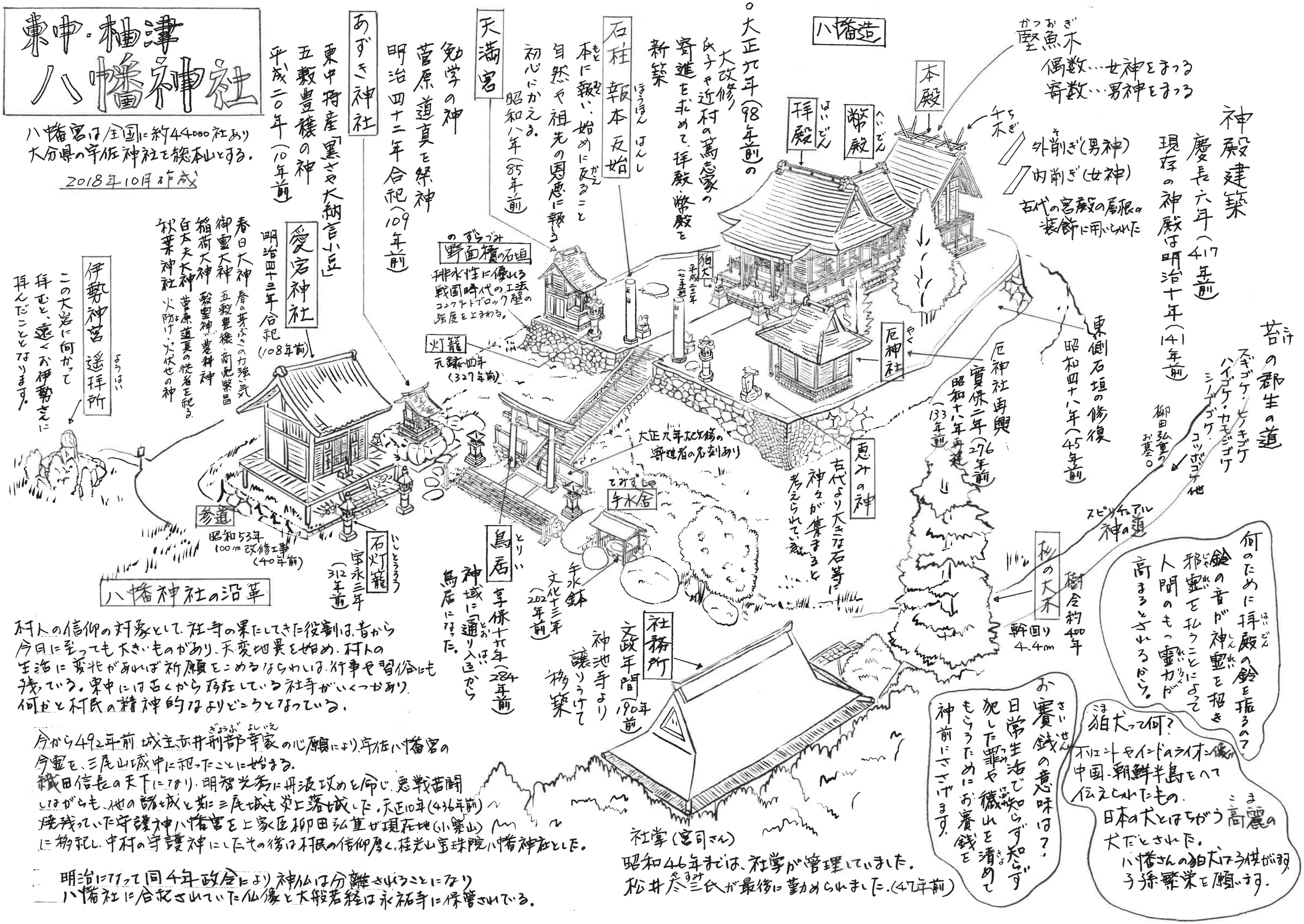
# 東中・柚津 八幡神社

八幡宮は全国に約44000社あり
大分県の宇佐神社を総本山とする。

2018年10月作成




村人の信仰の対象として、社寺の果たしてきた役割は、昔から今日に至っても大きいものがあり、天変地異を始め、村人の生活に変化があれば祈願をこめるならわしは、行事や習俗にも残っている。東中には古くから存在している社寺がいくつかあり、何かと村民の精神的なよりどころとなっている。

今から492年前 城主 赤井刑部幸家（ぎょうぶよしいえ）の心願により、宇佐八幡宮の今霊を、三尾山城中に祀ったことに始まる。
織田信長の天下になり、明智光秀に丹波攻めを命じ、悪戦苦闘しながらも、他の諸城と共に三尾城も炎上落城した。天正10年（436年前）焼残っていた守護神八幡宮を上家臣柳田弘重が現在地（小紫山）に移祀し、中村の守護神にした。その後は村民の信仰厚く、桂光山宝珠院八幡神社とした。

明治になって同4年政令により神仏は分離されることになり
八幡社に合祀されていた仏像と大般若経は永祐寺に保管されている。

社掌（宮司さん）
昭和46年までは、社掌が管理していました。
松井尽三（やすみ）氏が最後に勤められました。（47年前）

お賽銭（さいせん）の意味は？
日常生活で知らず知らず犯した罪（つみ）や穢（けがれ）れを清（きよ）めてもらうためにお賽銭を神前にささげます。

何のために拝殿（はいでん）の鈴を振るの？
鈴の音が神霊（しんれい）を招き邪霊（じゃれい）を払うことによって人間のもつ霊力（れいりょく）が高まるとされるから。

狛犬（こま）って何？
オリエントやインドのライオン像が中国・朝鮮半島をへて伝えられたもの。
日本の犬とはちがう高麗（こま）の犬だとされた。
八幡さんの狛犬は子供がいます。子孫繁栄を願います。